

【新型コロナウイルス対応】

*第1礼拝、第2礼拝への礼拝堂での出席は、各回50名とします。

《事前申込にご協力を》

お手数ですが、礼拝出席者と人数の把握のため、事前の申込をお願い致します。教会ホームページの専用サイト、メール、電話、FAXにてお申し込みください。礼拝出席の際に、次回申込もできます。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》

※体調がすぐれない、倦怠感があるなどの際は出席を控えてください。

※教会に滞在する場合には換気の徹底をお願い致します。(使用後の片づけと戸締りもお忘れなく)

《週報発送について》週報の到着が遅れていると問い合わせが増えていきます。

月曜に発送していますが、配達業者が遅れているようです。年末に向かい今後も遅れるケースが増える予想されます。事情をご理解ください。遅配が常態化している方については対応を検討しています。

*荻野久仁子伝道師記念会 報告

13日午後に無事に行えたことを感謝します。1時間ほどの限られた時間でしたが、スライドショーや思い出、祈り、そして式辞を通して久仁子伝道師を偲ぶことができました。出席されたある方が「久仁子先生のことをみなさんと共有できてうれしかった」と仰っていたのが印象的でした。

寂しさは尽きませんが、背後にある神様のご計画に思いを巡らしながら、天国での再会を望み進んで参りましょう。背後でのお祈りを感謝します。

*ボランティアアングルプシオン

食品無料配布のための寄付を募集しています。無料食品配布は、

- ・募集期間 今月 毎週日曜日
- ・収集方法 教会入口に回収箱設置
- ・問い合わせ

「こうして主は民を打たれた。彼らが子牛を造ったからである。それはアロンが造ったのであった。」

自分の罪深さを自覚して「自分はどのように救われたのだろうか?」と不思議に思うことではないでしょうか。救われてもなお欠けだらけで失敗が多い自分自身を思うと「こんな者が赦されていいのか」と戸惑うのです。けれども、キリストの十字架と復活による贖いは、神に信頼する者に罪の赦しと神の子の資格を与えます。それは神のことばである聖書が約束していることです。

アロンはモーセの同労者としてイスラエルの民を導き、大祭司として神の民の先頭に立った人物ですが、彼も同じ問いを心に抱いていたのではないかと想像します。

イスラエルの人々が神に背を向けて偶像を求めたとき、アロンはその声にかけて金子の子牛の像を造りました。主は人々のその

出エジプト記 32章 35節

行為を許さず、三千人もの人を罰して命を奪いました。けれども、アロンは罰せられず、赦されて大祭司の立場も守られました。

アロンはその後、大祭司として主への礼拝の奉仕の中心を担います。民を代表して罪の赦しのためにいけにえを献げました。彼はいけにえを献げるたびに自分がどこから救われたかを思い起こしたでしょう。

「大祭司は自分自身も弱さを身にまとい、無知で迷っている人々に優しく接することができます」(ヘブル五2)

アロンの失敗は見逃されるものではありません。しかし、自らの罪深さ、そして神の赦しの不思議を知るからこそ人々の罪に寄り添い、神の赦しへと導くことができたの

です。私たちも同じようにこの時代に召されているのではないのでしょうか。

アロンとイスラエルのために神に赦しを求めたのはモーセでした。モーセのとりなしによって神は怒りを収めました。モーセはアロンとイスラエルを見限って自分だけが祝福されるのをよしとせず、身を挺してとりなしをし、山を下って人々のもとで過ちをただしました。モーセの姿にイエス様を見ます。罪人を見捨てず、天の栄光を捨てて受肉し、人と共に住まれたイエス様は、ご自身を罪の赦しのいけにえとして十字架に献げました。私たちはこの御方によって今、罪赦され、生かされています。私たちがこの時代にあつて罪人の隣人となるためです。

アドベントを迎えます。真の大祭司であるイエス様が、かつてこの地上に來られ罪人のためにご自身を献げられたことを覚え感謝をもって過ごしましょう。(泰)

11月20日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 高橋美姉

招 詞 イザヤ書60章2節

会衆賛美 聖歌502(1、2節)

会衆賛美 イエスの血潮で(1回)

主の祈り

交 読 詩篇51篇10、17節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 出エジプト記

説 教 罪を犯したアロン 32章1、14節
荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌472(1、2節)

献 金 聖歌376

祝 禱

報告

後 奏 感謝祈禱

【招 詞(主の招きのことば)】
イザヤ書60章2節「見よ、闇が地をおおっている。暗黒が諸国の民を。しかし、あなたの上には主が輝き、主の栄光があなたの上に現れる。」アーメン

【本日の予定】

●礼拝映像ネット配信 9時から

●第一礼拝後 会堂座席拭き掃除

●会長会 5階 10時15分

●小学科ホザナ礼拝 3階 10時半
お話し 林修養生

●パイブルカフェ 12時15分

●大掃除&クリスマス飾り付け
13時〜 3階集合

【担当】
大掃除 管理部

クリスマス飾り付け 宣教部

●教団理事会 15時半〜 牧師室

【本日の礼拝奉仕者】

●第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

配信 林修養生

●第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場 林修養生

受付

【次週の礼拝説教】

●聖 書 出エジプト記

●説教題 23章14、17節

●説教者 私たちを繋ぐ教会暦

●説教者 荻野牧師

※荻野牧師は、本日夕方は東京育成園に向向です。児童祝福式を行います。

次週(11/27)より

アドベント(待降節)

街を歩くとクリスマスソングが聞こえる季節になりました。今年もクリスマスの季節を迎えます。

コロナ禍で今年も以前のようなプログラムを組むことはできません。だからといってクリスマスの本当の喜びが失われるわけではありません。暗闇が社会を覆うような状況だからこそ、2000年前にイエス様がお生まれになった時に思いを向け、静かに主の降誕を思い巡らしたいと思います。

あの時代、ユダヤは残忍なヘロデ大王の支配のもとにありました。しかし、その足下に救い主はお生まれになったのです。暗い時代、そして目に見えないところには何の希望も見いだせない時代に、信仰の目をもって救い主を捉え心に迎えたザカリヤとエリサベツ、羊飼、博士たち、シメオンとアンナ、そしてマリヤとヨセフ。彼らの姿に心を向けましょう。皆さまにクリスマスの祝福がもたらされるように祈ります。

■蒲田シオン教会

クリスマスのおもなスケジュール

11/20 会堂大掃除と飾り付け

11/27 アドベント第1週

12/18 子どもクリスマス

12/24 クリスマスイヴ燭火礼拝

午後5時〜6時

12/25 クリスマス礼拝

■アドベントと教会暦について

『待降節』(「教会暦と聖書朗読2023年度」発行)カトリック中央協議会 より引用)

待降節は二重の性質をもつ。それはまず、神の子の第一の来臨を追憶する降誕の祭典のための準備期間であり、また同時に、その追憶を通して、終末におけるキリストの第2の来臨へと心向ける期間でもある。この2つの理由から、待降節は愛と喜びに包まれた待望の時であることが明らかに becoming 。

『教会暦について』(「毎日の糧2022」発行)日本キリスト教団出版局 より引用)

キリスト教の信仰は歴史の中で働く神の御業に基づくものであり、その中心にキリストの救いの出来事があります。しかし、それらは創造から終末に向かう直線的な時の流れの中にあり、放っておけば帰らぬ過去に押しやられ、忘却されてしまいます。そこで、神の御業が我々の信仰にとって有意義なものとなるためには、周期的に記念される必要があります。このことを暦の文化を用いて行っているのが、教会暦なのです。

私たちの教会暦は、3つの大きな救済の出来事を中心として構成されています。すなわち、降誕日(クリスマス)、復活日(イースター)、聖霊降臨日(ペンテコステ)です。

■お知らせ

12/11 アドベント第3週

聖日礼拝説教

田中英先生